

西日本工業倶楽部

第1214回 講演会のご案内

一般社団法人 西日本工業倶楽部

交流委員長 山口幸之助

「小倉流ソーシャル・インクルージョンの実例について」

講 師 社会学者・ノンフィクション作家 廣末 登 氏

日 時 令和元年10月3日(木曜日)

会 食 12:00～13:00

講 演 13:00～14:30

会 場 西日本工業倶楽部

会 費 3,000円

廣末様は犯罪社会学がご専門です。「青少年の健全な社会化をサポートする家族・地域社会の整備」を中心テーマとして、反社会的勢力(暴力団やハゲル等)に向かってしまう若者の行動・心理・境遇や、暴力団離脱者の社会的復帰について研究されており、2018年からは、福岡県更生保護就労支援事業所長に就任され、いわゆるソーシャル・インクルージョン(社会的包摂)を先頭に立って実践されています。

1970年 福岡県ご出身。2001年 北九州市立大学法学部ご卒業、2005年 同大学法学研究科法律学専攻課程修了の後、2008年 同大学社会システム研究科地域社会研究科博士後期課程を修了 博士(学術)されました。

主な役職として、2008年 参議院政策担当秘書、熊本大学特任助教(イノベーション推進機構)、久留米大学非常勤講師(社会病理学)、2018年 警察庁社会復帰対策に関する調査研究有識者委員を務められています。

ご自身によると、小・中・高校はマトモに行っておらず、18歳でAdam & Eveのテザイターとなるが、23歳で一念発起して高校進学。31歳で大学を卒業するも、就職氷河期でフリーター生活。38歳で博士課程を修了し、参議院政策担当秘書に任官。43歳から文筆活動に入ると、毎日新聞のコラム『憂楽帳』で「暴力団博士」と命名されたとのこと。 主な著書:『ヤクザになる理由』(新潮新書2016)

『ヤクザの幹部をやめて、うどん店ははじめました』(新潮社2018) 等

非常に興味深いお話をご紹介いただけるものと存じます。

多数の皆さまのご聴講をお待ちしております。

※ご本人以外のご出席も歓迎します。ご出席の方はこの用紙に記入のうえFAXください。

出席通知(令和元年10月3日)

FAX 093-871-1071

(返信 月 日すみ)

会社名

出席者名
